



優しいまなざしをつくる地域の絆

～都市部における地域活動・有償活動・事業所による見守りの総合的な展開～

豊中市社会福祉協議会 勝部麗子

豊中市社協の経緯

- 昭和58年 法人格取得
- 昭和62年 賛助会費導入
*福祉のまちづくり講座、給食サービス
- 平成 4年 校区ボランティア部会設置事業
福祉作業所連絡会...なかまの店
- 平成 7年 阪神淡路大震災
- 平成 8年 小地域福祉ネットワーク活動
- 平成13年 介護相談員派遣事業
- 平成15年 ころのボランティア講座・ちょボラサロンへ
- 平成16年 地域福祉計画を市と協働で作成
福祉なんでも相談窓口を各校区に設置
*地域福祉ネットワーク会議、CSW配置
- 平成18年 運営推進会議へ参画
- 平成21年 福祉公社と統合
地域福祉権利擁護センター、地域福祉活動支援センター
安心生活創造事業
- 平成23年 パーソナルサポート事業
- 平成25年 生活困窮者自立促進モデル事業



平成7年1月17日
阪神・淡路大震災 小地域ネットワーク本格化

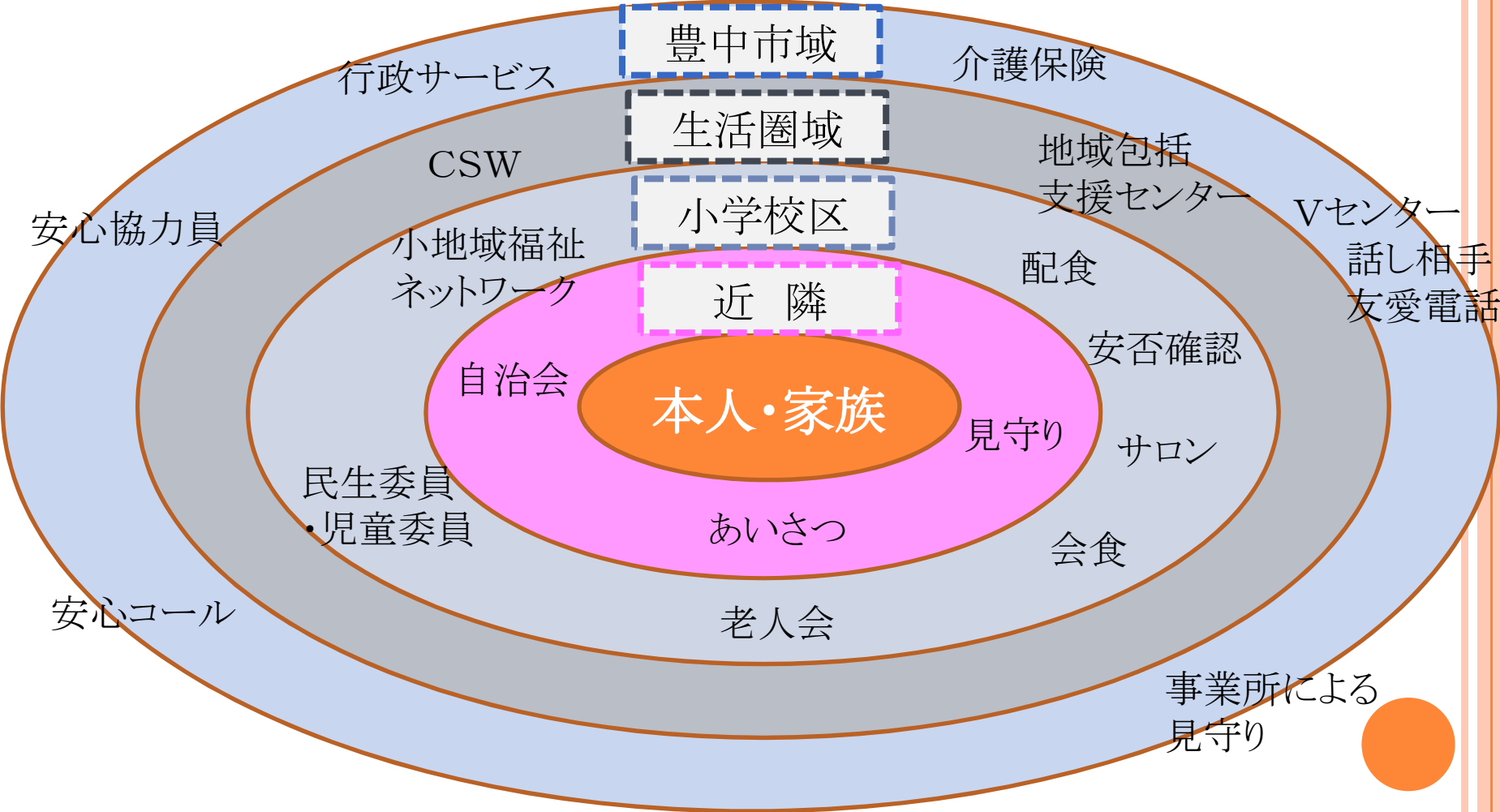


主な支援策

- 1, 校区福祉委員会の見守り
- 2, コミュニティソーシャルワーカーによる支援
ごみ屋敷など
- 3, 民生委員の見守り
- 4, 事業所による見守り
- 5, 生活困窮者自立支援事業
くらし再建パーソナル事業
(家さがし、債務整理、就労支援などなど)
- 6, 日常生活自立支援事業 (金銭管理等)



豊中における見守りの方法



1. 校区福祉委員会活動

校区福祉委員会とは…

概ね小学校区単位に結成された住民のボランティア組織

(豊中市では38校区福祉委員会 / 41小学校)



校区福祉委員会活動 その2

個別援助活動・・・見守り・声かけ活動・個別支援

グループ援助活動・・・ふれあいサロン

世代間交流・ミニデイサービス

会食会・子育てサロン

その他・・・災害時の安否確認事業

子どもの安心安全見守り活動

福祉なんでも相談窓口



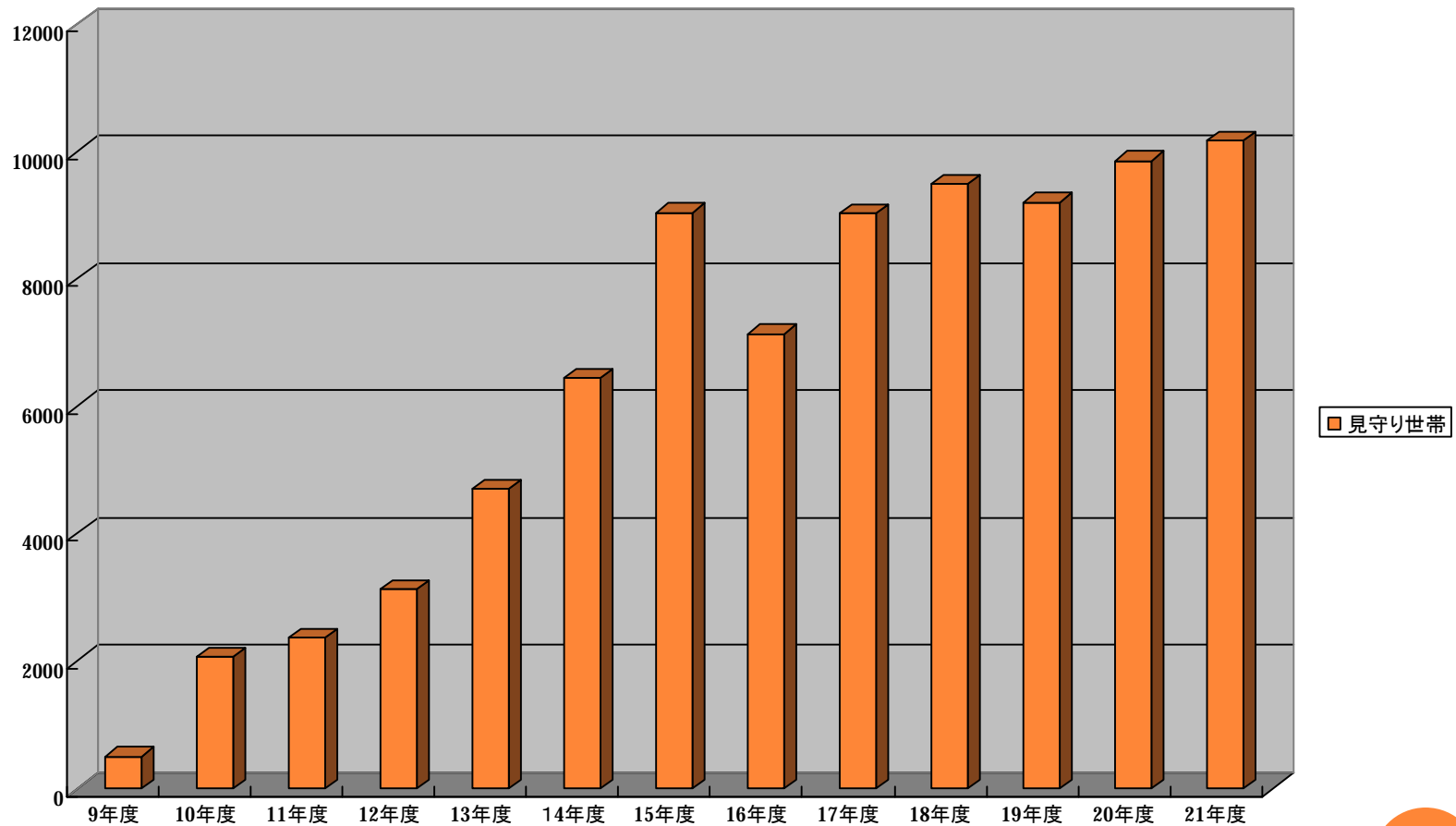
校区福祉委員会活動 その3

福祉なんでも相談窓口（小学校区ごとに設置）

- 身近な福祉相談の実施と専門機関への取次ぎ
- 地域住民が集う、交流ふれ合いの拠点
- 福祉サービスに関する情報、ボランティア情報、地域福祉活動情報の受発信
- 概ね週1回、2時間開設



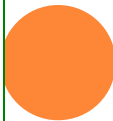
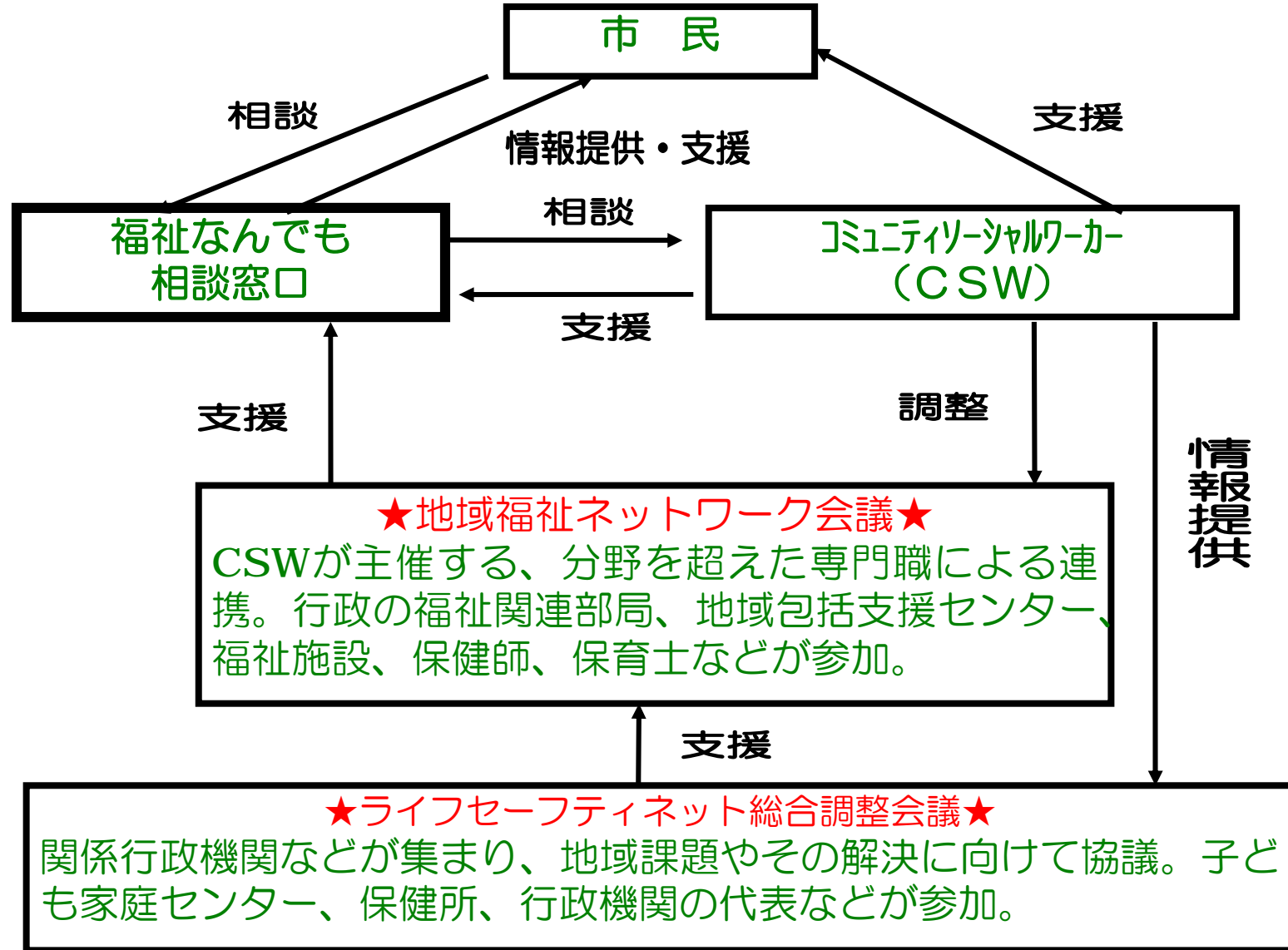
見守り世帯は12000世帯に



福祉なんでも相談窓口



豊中ライフセーフティネットの仕組み



事例1 「ごみ屋敷」支援

福祉なんでも相談窓口で地域から相談



高齢者、精神障害者、引きこもりなどさまざまな世帯



家庭訪問(本人の心に寄り添う)



家のかたづけ



サービス導入



つながり作り



啓発



支援のルール化



ゴミ屋敷リセットプロジェクト



2, ひとり暮らし応援事業者による見守り緊急時の対応の仕組み



3, 民生委員による安心キットの配布で見守り

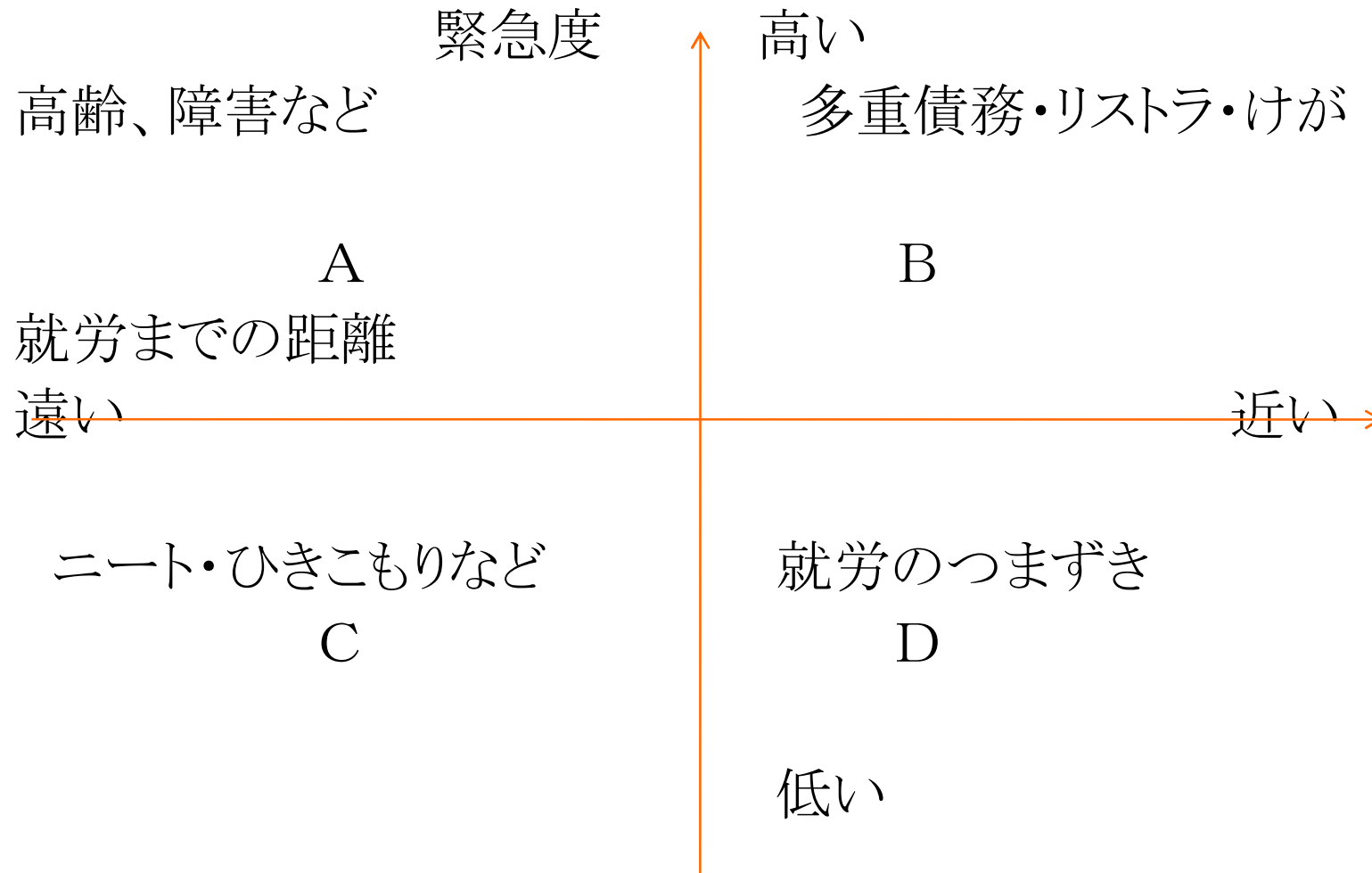


なんでも相談から 開発プロジェクト・・・

- ・徘徊SOSメール
- ・ゴミ屋敷リセットプロジェクト
- ・悪質リフォーム対策会議
- ・男性介護者交流の集い
- ・若い介護者の集い
- ・校区単位の車椅子の貸し出し
- ・ちょボラサロン
- ・高次脳機能障害家族交流会
- ・ケアマネジャーと地域活動のガイドライン
- ・一人暮らし高齢者支援方策検討委員会→アンケート調査
- ・広汎性発達障害家族交流会
- ・小地域次世代育成人材養成プロジェクト 等々

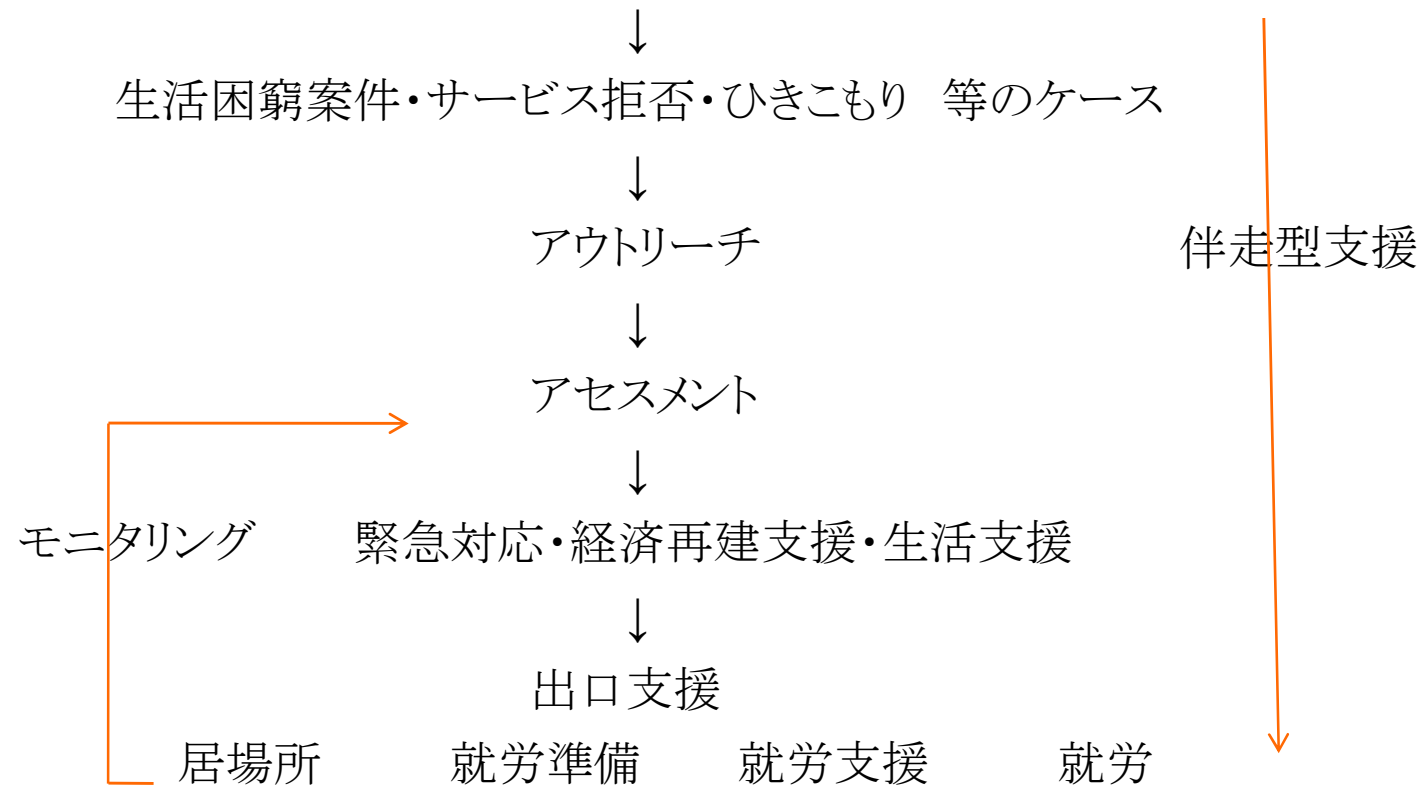


4,生活困窮者自立支援事業 ①対象



5, 豊中の総合相談とアウトリーチ

地域住民・なんでも相談・事業所・大家、管理組合・貸付・学校・民生委員等



☞ 行政の窓口は公共料金の滞納世帯が把握



6, 豊中の生活困窮者支援①

生活困窮者支援緊急支援

- ☛ 貸付、日常生活自立支援、なんでも相談などからの生活困窮者の伴走支援→**CSW**へ

(緊急対応、多重債務整理、年金手続き、住宅探し、制度利用、就労支援等)

- ☛ 善意銀行の生活困窮者貸付
- ☛ 民生委員助け合い資金
- ☛ 物品提供(衣類、食糧)
- ☛ 老施協 社会貢献費用との連携



豊中の生活困窮者支援②

- ☛ **CSW**の相談の中で対応が難しかった就労まで距離のある若年の支援(ニート・ひきこもり・リストラ・ホームレス等)
 - 就労準備的な活動 *本人との目標設定(**PS**プラン)

居場所→就労プログラム→就労体験→就労

- ①居場所...週**4**回(生活面と自己肯定感、仲間意識)
- ②就労プログラム**2**時間一コマ 活動費支給
- ③就労体験...新聞配達、団地の草ひき、買物支援、パン屋さん
農業、林業、うどん屋さん等
 - 職域開発地域のネットワーク発揮 活動費支給
- ④就労訓練...パートで一定期間仕事に就く(この間就活)
- ⑤就労支援...就労支援センター・ハローワークとの連携



小地域ネットワーク新たな課題

- ❖ マンションの課題
 - マンション管理組合サミット、マンションサロン、交流会
- ❖ 災害時安否確認事業との関連
 - 避難支援プランとの関係
- ❖ 担い手の課題
 - 介護予防、引きこもり、次世代育成など
- ❖ 介護保険対応について
 - 生活支援サービスと小地域福祉ネットワーク
- ❖ こどもの貧困について
 - 見守り、子供食堂
- ❖ 生活困窮者自立支援について
 - 発見力、緊急支援、フードバンク
- ❖ 福祉共育の視点



豊中の5つの集合住宅課題

(1) 千里ニュータウン

中高層の団地から建て替えへ

- ・孤独死
- ・つながりの困難さ
- ・世代交代

(2) 公営住宅

- ・高齢、独居、障害、母子、外国人、グループホーム
- ・支えあいの限界

(3) 震災復興住宅

- ・コミュニティの再構築

(4) マンション問題

- ・管理組合があっても自治会はない
- ・オートロックで外部との連携がない
- ・コミュニティのつながりの希薄さ

(5) UR

- ・保証人がない人たち、福祉なんでも相談を集会所で



コミュニティソーシャルワーカーとして 心掛けていること

- ❖ 社会的排除をさせない
- ❖ 困っている人を支える人を地域に増やしていく
- ❖ 制度の狭間の課題こそ地域福祉発展の芽
- ❖ 地域での問題解決力を高める
- ❖ 本人の支援と本人の社会関係を広げていく
- ❖ 同じ問題を抱える人を横につなぐ(独りぼっちをつくらない)
- ❖ 社会資源につなぐ、なければ生み出す。
- ❖ ネットワークとフットワークと諦めない心



住民と専門職が協働するためのコツ

制度の狭間の課題を地域力で発見し、支える

- ☛ 住民任せにしない、行政任せにしない
 - ⇒ともに支援を考える場づくり
- ☛ **24**時間の生活を公・民協働で支える
- ☛ それぞれのできることを出し合い、少しでもできることを増やしていく。
 - ⇒**100**できなければ辞めるのではなく、
1でもできることを増やす
- ☛ 仕組みは一番困っている当事者ととともに進める
- ☛ 住民が困っている時は絶対支える、逃げない
- ☛ ソーシャルインクルージョン
 - ⇒これらをコーディネートする**CSW**

